

どんびま

2011年9月4日発行

発行者 椛の湖農業小学校

ワレモコウ

防災訓練で公会堂へ避難した。久しぶりに歩いて道々野の花を見た。今まで知らなかった場所でワレモコウを見つけた。

ワレモコウは草地に生える多年草で、日本列島、朝鮮半島、中国大陸、シベリアに広く分布している。根は漢方薬に使われる。秋になると茎をのばして先端にだ円形の穂状に小さな小さな花を咲かせる。花は暗紅色に色づく。

ワレモコウは漢字では吾亦紅と書く。知らない人は気付かずに通り過ぎてしまうだろう姿と色なのだが、「私も花よ！吾も紅、だんぜん赤色よ！」と一生懸命主張している。そんな声が聞こえてきそうな花だ。ワレモコウが咲くと秋の気配。

今年は例年より籾の登熟が遅れていると云うものの、田の稲は穂首が垂れて、ずいぶん色づいてきた。 (草)



9月授業日案内

●日程 9月18日(日)

受付 8:30~9:00

はじめの会 9:00~9:15

授業 9:15~12:00

(粟拾い・稲刈り)

粟拾いには袋を2枚以上お持ち下さい。

粟は有料です。時価で精算して頂きます。

昼食 12:00~13:00

(松茸ご飯、お吸い物ほか)

授業 13:00~15:00

(稲扱き(脱穀)・バケツ稲品評会)

終りの会 15:00~15:30

●持ち物 手袋、タオル、雨具、
着替え 買い物袋 食器、箸

☆バケツ稲を持参してください。

品評会をしますので、必ずお持ち下さい。

**バケツごと持ってこられない方は、刈って
稲束にしてお持ち下さい。**

●締め切り 9月12日(厳守)

●問い合わせ・緊急連絡

Tel.0573-75-4417

090-5110-9362 (山内總太郎)

～とくちゃんの農小レポート～

キャンプファイヤー中止！ 残念！！

キャンプの日に朝から一日中雨に降られたことは、18回を迎えた農小の歴史の中で一度もなかった。地球温暖化の影響なのか天候は不順となり、雨もゲリラ的降り方が多くなっている。その為なのか二日間共雨になり、楽しみにしていたキャンプファイヤーが、中止になってしまったのは誠に残念でした。

1 午前の授業。

*畑の作業、生徒たちが種子から育てたカボチャの収穫。その後は白菜の種まきをしました。小さな種子から大きな白菜の採れるのは不思議？乞う期待。

*案山子作り。先月未完の人も含め、皆さんで案山子づくりをしました。

2 昼食。 おにぎり、茹でたまご、漬物、トマト。

いつもの年ですと、おにぎり弁当をもらって川遊びなのですが、今年は川が危険と言う事で中止となり、農小テントの中でいただきました。

3 午後の授業。

*かぶと虫運動会、先月間に合わなかった13名の選手で行われ、優勝は狩野(4G)、2位山口(4G)、3位大宮(2G)、4位大平(1G)の成績。

*鱒つかみ体験、椈の湖オートキャンプ場に場所を移して行い、そこでの鱒つかみは大賑わいでした。終わったあとは腹出し体験もして、なかなか苦労の様子でしたが、これも人間は常に動植物の命をいただきながら、生きていることの実感できる大切な体験となりました。

4 夜店の開店。 夕方からは各グループ毎に担当する夜店が開店し、盛り沢山のメニューが用意されました。いか焼き、フランクフルト、やきとり、鱒の塩焼き、フライドポテト、唐揚げ、フルーツポンチ、奴豆腐、サラダ、やきそば、おにぎり、豚の丸焼き、等等、さて皆さんは何種類食べられたでしょうか？フランクフルトが一番最初に売り切れた様子でした。お父さんお母さん方には生ビール(有料)も用意され、早々に売り切れとなりました。

5 夜の出し物。 雨のためギャラリーの中を中心に行われました。

*かぶと虫運動会の表彰、7月8月の上位には賞状が渡され、翌日に賞品も出ました。

*手遊び、山内先生の指導でジャンケンゲームで盛り上がりました。

* マルモダンス、1Gと4Gによるダンスが披露されました。

* 文字当て伝言ゲーム、5Gの出し物でしたが、背中に書かれた文字を当てるのは大変のようでした。

* ゲスト出演は市内の「更紗」というグループによる、鳴子踊りが披露され大変な好評を博しました。

* 宝さがし、4Gの出し物でしたが雨のために、隠し場所に苦労したようです。

* きもだめし、2Gと3Gの担当で農小の付近で行いましたが、林の中など区域が広く、いつもの様な悲鳴は農小テントまではあまり聞こえて来ませんでした。

すべての出し物は予定通り 21 時に終了して、キャンプ場のテントに引き上げました。

- 6 物作り体験教室。** 翌 21 日は農小テントの中で、物づくりに挑戦しました。
- * 染物、加藤緑先生の指導のもと、主に T シャツが染められ、思い思いのアイデアにより、個性的な作品が出来上がりました。
 - * 竹細工、農小先生、スタッフのアドバイスで、竹とんぼ、水鉄砲、菜ばし、それにマイハシ作りが出来上がりました。
 - * 布草履、今年も片田先生はじめ農小先生の指導により、時間ぎりぎりまで頑張って完成させました。
 - * 木工、校長はじめ先生やスタッフによるアドバイスにより、それぞれのアイデアで沢山の作品が出来あがりました。
 - * 紙すき、今年は参加人数が少なかったが、その分じっくり、丁寧に出来たと思います。OB の安井さんがきれいな押し花を作ってきてくれて、すてきなハガキに仕上がっていました。
- 染物 46、竹細工 33、布草履 28、木工 24、紙すき 3、と多くの参加希望者があり、テントの中でしたが最後まで頑張りました。出来上がった作品は是非とも卒業式（11 月）の、作品展に持ち寄ってください。
- 7 案山子の作品コンクール。** 各家族に 2 枚、先生・スタッフに 1 枚の用紙が配られ、今までに最高の数 51 体の作品が陳列され、人気投票が行われました。
- 人気投票上位は、No 5、No 38、No 28、No 23 の作品であり、卒業式には、他に選ばれた特別賞と共に表彰されます。投票、審査の終わった後は各自が担いで田んぼに向かい、スタッフによって立てられました。
- 今年も多くのカメラマンが訪れるでしょうが、あまりの数に驚く事でしょう。
- 8 流しソーめん。** 毎年恒例人気の流しソーメンですが、雨にたたられテント内でしたので、涼気にはやや不足気味のようでした。
- 9 持ち帰り。** 農小生徒が種から育てて採れたカボチャと、他に事務局長の總ちゃんが提供されたぼっちゃんカボチャが、配られました。また昨年の講師だった丸山先生からの、竹トンボのプレゼントがありました。竹トンボは人に当たると危険ですから、なるべく人のいない広場で揚げてくださいネ！

～とくちゃんのちょっと一言～

今から十数年前になるが、木曾路のはずれ洗馬宿から、サラダ街道に向かう道端に案山子百体ほどが並べられ、人目をひいており楽しみながら通っていましたが、いつの間にか消えてしまい残念でした。我が農小も今年は 50 体を超える作品が出来上がり、年々盛況で楽しい限りです。

地元はもちろん、遠くは岐阜あたりからも、アマチュアカメラマン（私も含め）が、絶好の被写体として足を運んで来ています。その内新聞・雑誌などに投稿があるかもしれません。

～あぼ兄の百姓ぼなし～

キュウリ様様

今年の夏はとにかくよく雨が降った。盆頃から前線が日本列島に居座り、天気予報に雨マークの無い日はないくらい記録的な異常気象が続いている。

秋野菜の準備は大幅に遅れている。特にあぼ兄の場合は、あぼ兄農園の代表品目である「タマネギの苗」作り(20a)が出来ないで、毎日空を見上げていた。とにかく日照時間が少なく農作物には良くない。生育も遅れるし、収穫も上がらない。そんな中で、キュウリだけは別なのだ。圃場はぬかるみ、まるで泥のような状態になっているのに、何故か生育が良く、細く真直ぐなのが採れる。普通の年なら今頃は形も大きさも不揃いになる時期だが今年は少ない。あぼ兄はもう20年以上、夏を中心にキュウリを作っているが、今年は格別に収量も多いようだ。考えられることの一つに、今までの灌水量が結果的に少なかったのではなかったかと、反省もしてみる。

キュウリの収穫は1日2回、夕方4時頃と、早朝である。あぼ兄は4時半に起きて出荷準備をして、5時には畑に入る。始めの内はまだ暗く手探り状態で採り、1本1本ハサミを入れる。あぼ兄は支柱や葉っぱに隠れているキュウリに話しかける。「こら、出てこい。明日になれば、どうせ見つかるぞ。」「大きくなりすぎて見苦しい姿より、人間様に喜ばれる内が良いぞ。」ブツブツ言いながら採る。

圃場は泥状で歩くのに大変で、足腰の弱っているあぼ兄は時々尻もちをつく。でもかまってはられない。少しでも早く市場へ行かなければならない。少し遅れると電話が入る。今年はこの時期になって出荷できる生産者が少なく、産地と云われるところからの入荷も少ない。いつもの夏は盆前に高値が続くのが、今年は盆過ぎの方がはるかに高値で、しかも長く続いている。「昨日は〇〇円の高値がついたよ」と請求の電話はあおってくる。

作業の遅れから、キュウリの定植が半月も遅れて、今年は失敗かと思っていただけに、余計にありがたく、「キュウリ様様」なのである。

加えて嬉しかったのは、農小のキャンプに比較的揃ったのが間に合わせられたことだった。總ちゃんが「今年のキュウリは美味かった」と言ってくれた。漬け方が上手だったからと思いつつ、そのまま受け取った。

ブツブツとは言ったものの、長雨もまんざらではなかったかと思いつつ直してみたが、8月30日、日本列島から雨マークが消えたのも1日かぎり、台風の大雨にうんざりしている。

キュウリは夏の代表的な食べ物である。旬な時に旬な野菜を沢山食べるのは身体のためにも良い。夏野菜は暑い夏には体温を下げてくれる働きがあると云う。

キュウリの美味しい漬け方の一つが、農小で食べた「からし漬け」だ。色もきれいにあがって、日持ちもよい。酒粕・ぬか味噌などに漬けたキュウリも又美味しいものだ。漬けものはじっくり漬けこんだ美味さもあるが、浅漬けもいいもので、あぼ兄が20余年愛用しているものに「早漬けの素」がある。キュウリを刻んで、さーっとかけただけでも食べられる。忙しい農家の夏にはうってつけの一品になる。

あぼ兄は3度の食事にキュウリが欠かせない「キュウリ大好き人間」なのである。

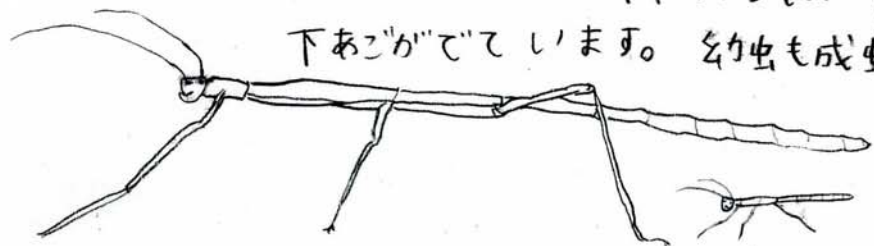
～かなちゃんの虫日記～

夏休みは楽しくすごせましたか？ わたしは実は大人の年で、いちおうはたらいしているのでも夏休みはありませんでした……でも、楽しくすごせましたよ☆ なぜなら『^{しや}楽しいの使者』に出会えたから！ その使者に会うと楽しいことがおこるし、楽しいことがあるとその使者があらわれます。とにかく楽しいんです!!! (わたしが勝手にこぼれているだけですが) その使者とは…… ナナフシです。

いつもゆーらゆらとふしぎなリズムでゆらゆらしていて、まるで楽しいことをひきよせているみたいなんです。

みどり色のや木の色のがいます。細長くて草や木の枝にそっくりです。武器^{ぶき}をもっていないので、こっそりと枝にばたいているんです。でも、楽しいときはつい見つけられちゃいます。山の中の木の葉の上、公園のトイレのゆか、東京の「ブリの美術^{びじゅつかん}館のある街^{まち}の道の木の葉の上などで、わたしは出会いました。

ナナフシという名前ですが、体のフシは7以上あります。下あご^{したあご}がでてきます。幼虫も成虫も(はっぴ)をたべます。



やわらかいのが好きだそうです。

山の中だけでなく街にもおるようだし、せむせむ楽しい気分ときはこの使者を思い出してくださいね！ きつ(はっぴ)の上でゆらゆらしていますよ。